

この資料は、2010年3月24日にダイムラーAGから発表されたプレスリリースの日本語抄訳です。

2010年3月26日

## メルセデス・ベンツ A クラス、B クラス: 累計販売台数 250 万台を達成

- ・ ヨアヒム・シュミット:「メルセデス A クラス、B クラスは新しい標準を打ち立てた。次世代モデルにより新しい市場で成長を図りたい」
- ・ コンパクトモデルのラインアップを 2 モデルから 4 モデルに拡大へ
- ・ 代替駆動システムを搭載した A クラス E-CELL および B クラス F-CELL

2010年3月、メルセデス・ベンツのコンパクトモデル、A クラスおよび B クラスの累計販売台数が 250 万台を達成しました。メルセデス・ベンツ・カーズ営業/マーケティング責任者のヨアヒム・シュミットは「A クラス、B クラスはプレミアムコンパクトカーに新しい標準を打ち立てたモデルであり、メルセデスは今後もこのセグメントにおける優位性をいっそう強化していきたいと考えています。新しいお客様を獲得するとともに、次世代モデルにより新市場で成長を図っていきます」と述べています。メルセデス・ベンツでは 2011 年末にも、コンパクトモデルのラインアップを従来の 2 モデルから 4 モデルへ拡大します。新世代モデルでは、広い室内スペースなど、これまで A クラス、B クラスのお客様に好評をいただいている特徴を継承しながら、新しいモデルバリエーションやコンセプトを導入し、新たな性格付けも行っていきます。

### 代替駆動技術のパイオニア

メルセデス・ベンツでは、コンパクトモデルの A クラス E-CELL(2010 年より生産開始予定)と B クラス F-CELL(2009 年より生産開始)により、代替駆動システムのパイオニアとなることを目指しています。A クラス E-CELL は当初、およそ 500 台の小規模生産を行い、4 年間のリース販売を行う予定です。電源には最新のリチウムイオンバッテリーを採用し、航続距離 200km 以上を実現し、他のすべての電気自動車と同様に主に市街地走行に適したモデルとなります。一方、メルセデス・ベンツ B クラス F-CELL の電気駆動システムは電源に燃料電池を採用し、燃料を車内に積み込んで走行することから、航続距離は約 400km と、市内でのゼロエミッション走行と長距離走行の両方に対応しています。初回生産は約 200 台で、年内に欧州および米国へ納入の予定です。

Aクラス、Bクラスはとくに欧州で人気が高く、最大市場の本国ドイツに続いて、イタリア、フランスが主要な市場となっています。最近では成長著しい中国市場においても、2009年初めての発売以来 Bクラスの累計販売台数がすでに 6,400 台に達するなど、好調なスタートを切りました。

#### 次世代モデルの生産ネットワーク

Aクラス、Bクラスの次世代モデルの生産には、メルセデス・ベンツの生産ネットワークを活用します。メルセデス・ベンツのコンパクトモデル向け生産拠点には、1997年からAクラスを、また2005年からBクラスを生産しているラシュタット工場がありますが、ダイムラーでは6億ユーロを投資し、この工場の生産能力拡大を進めています。コンパクトモデルの生産拠点としてはこのほか、総工費8億ユーロをかけ、ケチケメート新工場(ハンガリー)の建設にすでに着工しています。



(左)電気自動車「メルセデス・ベンツ Aクラス E-CELL」、(右)燃料電池車「メルセデス・ベンツ Bクラス F-CELL」